

総合基礎科目	人間と社会「こころと身体」					
看護学科	必修	1単位	講義	平成30年度	後期	2年次
臨床検査学科	必修					
科目名	身体論 I Body Theory I					
担当教員	田里千代					
目的	「身体」を多面的に捉えていくための視点と方法について、人文・社会科学の理論や方法を用いて学ぶ。人として他者と共存するために必要な「つながる身体」について考える。					
目標	「身体とはなにか」を概念的に私たちはどのように捉えているのか。時代や文化、社会によって、身体をどのように見てどのように扱うのかは多様である。本授業では、「わたし」や「あなた」から切り離せない身体について、外側の「(他者に)見られる・(他者に)見せる」こと、また自分の内面の身体感覚を探る手がかりとしての「感じる身体」に注目する。加えて、「身体技法」と呼ばれる文化的に規定される私たちの動作や仕草について学ぶ。この身体技法は、社会の中で他者と生きるための技といえる。本授業を通じて、身体は私一人のものに完結するのではなく、他者と「つながる身体」としてあることを考えていきたい。					
他科目との関連	宗教と科学、文化とくらし					
評価方法	項目	評価の内容				評価の比率
	筆記試験	筆記試験				0.5
	レポート	授業時の小レポート				0.5
評価基準	総合の得点100～90点を秀、89～80点を優、79～70点を良、69～60点を可と評価し、合格とする。59点以下は不可と評価し、不合格とする。					
教科書	特に指定はしない。					
参考資料	文献は授業中に適宜紹介する。					
備考 (受講上注意、 事前学習等)	自分自身の身体で「見る・聴く・書く・話す」ことをしっかりと意識的に感じてもらうために、本授業ではスマホ、携帯、ノートPC等の使用は認めない。必要なものは筆記用具のみ。あとは「集中できる身体」で受講してほしい。					